

その他の電気機械器具製造業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	8~9	製品発送センターで、パレットを運ぶ作業をしているとき、部品が沢山置いてあり、狭い通路の状態ではンドリフトを使わずにパレットを立てて運び、腰を痛め悪化し休養となった。	39	50~99
2	13~14	多目的運動上にて練習を行っていた。被災者はキャッチボールで強く投げようと踏み込んだ時に左足を滑らせて踏ん張った際、左膝上部を受傷した。当初肉離れを疑いチームに帯同し、治療リハビリを継続していたが、患部の痛みに変化がないため、骨損傷を疑い、病院に受診する事にした。	26	1000~9999
3	11~12	自社工場内にて作業中、カーボンを引っ張ったときに、胸と背中に痛みがはしり立っていられなくなった。	45	10~29
4	20~21	本社工場内アニール室において、アニール炉に材料を入れる作業をしていた。アルミ材の入ったかご（重量約45kg）を炉の上段（140cm）に収めようと持ち上げた際に腰を痛め、また右足にしびれが生じた。通常は20kg程度にわけて炉に入れるが、当時は終業前の最後の投入で、空きスペースも1かご分しかなかったため、そのまま入れるのが最善と思い行動してしまった。	58	50~99
4	9~10	工場内1F外のピットにて、高さ70cm幅120cm奥行70cmのタイヤ付きのタンクの水を捨てるため、持ち上げようとしたところタンクが前方に動き、つかもうと手を伸ばして前屈姿勢になったところ、腰の左側部分に痛みを感じそのまま動けなくなってしまった。	31	10~29
5	13~14	朝、工事予定を持ち工事所を出発し、昼過ぎに22件目の取付作業を完了し、後片付けのため工具袋を取ろうとし屈んだ時に腰が今まで経験のない抜けたような感覚になり動けなくなった。その後、痛みが出たためその場でしばらく待機し、帰	46	10~29

		宅後に痛みがひどくなった。		
6	18~ 19	工場内でプリント基板の外層加工作業中、カーテンコーター（装置）の半年毎の部品交換を行っていたところ、交換部品のローラー（約5kg）を前かがみに持ち上げた際、腰がギクリとした。当初は大した痛みではなかったが、2、3日後には立っているのも辛いくらいに痛くなった。	43	100 ~ 299
7	13~14	電気検査工程のオペレータ作業中、検査パネルが自重落下するのを防ごうと、咄嗟に右手で受け止めた際、腰に負担がかかった。MRIにてヘルニアと診断された。	46	1000 ~ 9999
7	2~3	派遣先にて、材料を床から機械に補充するため持ち上げた時、腰に激痛を感じた。	24	500 ~ 999
9	16~ 17	事業所内での修理品の梱包作業において、大きな荷物の上げ下ろしの際、右わき腹に痛みを感じ、早退し病院で診てもらったところ、ひびが入っていると診断されたもの。物の落下、人体への衝撃はない。荷物のサイズ、重さは様々。	60	10~ 29
10	11~ 12	工場内で部品梱包作業中、箱を持ち上げた際（立ち作業）腰を痛めた。	37	30~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html